

# 丘の上&リニアを考えるプロジェクト 事業報告

中島 一夫

## [まちづくり視察]

### 1. 視察の日程、場所、メンバー

日 程 2005年3月7日、8日

場 所 大分県豊後高田市（商工会議所 金谷氏、ボランティアガイド 藤原氏）  
同 臼杵市（臼杵デザイン会議 大戸氏、竹内氏）

メンバー 中田勝巳 渡辺武彦 中島一夫

### 2. 視察の目的

長野県同様に歴史的に小さな地域に分かれ、各々が特徴ある個性を創り上げている大分県より、中心市街地のまちづくりにおいて先進的でありかつ対照的なまちを二つ視察することにより、当プロジェクトのコンセプトメイキングに役立てる。まちづくりにおいて中心的な役割を果たした人と議論することにより、その思考のプロセスや手法において参考にできることを学ぶ。

牧野飯田市長お奨めの地域であり、飯田市長がまちづくりにおいて提唱しつつある概念について検討することのできる土台づくりを行う。

### 3. 視察報告

#### ・豊後高田市昭和の町

##### 昭和の町とは？

豊後高田市は大分県国東半島の西側に位置する人口1万8000人の小都市である。平成13年7店舗の参加で昭和の町はスタートした。ちょっと昔だから懐かしい「昭和30年代」をテーマに、店舗の外観を覆う看板建築をはがし、戸や看板を昔ながらの木やブリキに統一し、店舗の外観や内装を昭和30年代風に改装し整備した。改装費用は国、県の事業費を上手に利用し、個人の負担を最小にした。

同時にその店にまつわる「一店一宝」を定め店頭に展示、さらには販売用の売り物商品を「一店一品」として定め、昔懐かしさのコンセプトに店舗内の展示や売り物のお勧めの方法、会話のやり方を統一した。

桂川の橋を北限とし、中央通り、宮町、新町1丁目、新町2丁目、稻荷通り、駅通りからなり、全長約550メートル、北斗七星のような形をした商店街である。現在では32軒の商店が昭和の町のプロジェクトに参加している。

昭和の町と隣接した地で、かつて大分県きっての金持ちと言われた野村財閥が所

有していた旧高田農業倉庫が昭和ロマン蔵として蘇り、中に「駄菓子屋の夢博物館」、  
「絵本美術館」が設けられ、プラスの観光資源となっている。

まちづくりの特色

a 戦略的アプローチ

平成4年に広告代理店「電通」による大規模開発プランニングが内容の特徴の  
なさおよび資金面の不備でお蔵入りした後に、少数チームで新しいプランニング  
を8年にわたって行う。その手法が経営戦略や、マーケティング戦略策定のアプ  
ローチと類似して興味深い。

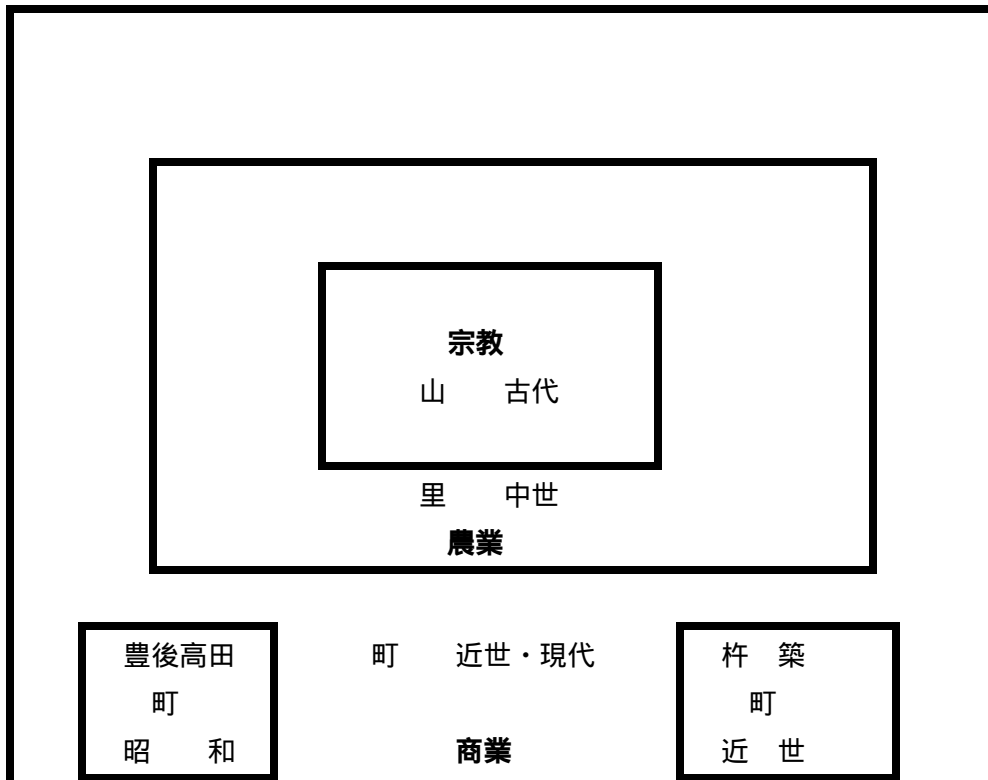
長期的ビジョンとして国東半島全体のビジョンを考える

豊後高田の位置づけを考える。差別化し勝てる要素、要因に徹底的に絞り込む。

具体的な戦術立案。(ハードの未熟さを人的なソフトで補う。観光客誘致。)

国東半島は古代神仏習合仏教が華を開かせて地であり、国宝の富貴寺や熊野磨  
崖仏などで名高い。そうした遺産も含めて下図のようにゾーニングしたビジョン  
を策定した。

国東半島全体 「エコミュージアム」構想



そうした「エコミュージアム」構想の、町・商業を担う地域として豊後高田は位置づけられている

次に時間をかけ徹底的に行われたのが豊後高田の歴史を掘り起こし、他と差別化でき勝者となり全国にアピールできる要素、「ウリ」になる素材を見つけだすことであった。目に見える明確な町の個性が存在するわけではなく、歴史をたどると様々な要素はでてくるものの、他の町と比較して確実に勝ちうる要素の発見、磨きあげに苦労した。

町に住む人にとって良いかどうかという観点ではなく、全国的にみて特徴が明確で、他地域になく多くの人々の耳目を引き、マスコミに注目され、観光客誘致に役立つという「マーケティング」の視点よりの戦略的な探索であった。牧野市長の言う外貨獲得と同じ視点である。

「昭和30年代」がブームになりつつある点に着目し、検索によりヒットしてきた400件の全国の事例に電話し、更に100件に絞り込んで現地を訪ね、競合相手、その商品、売り方についてリサーチした。その結果、「昭和30年代コンセプト」でまちづくりしているライバルが多くなく、その価値に気付いて戦略的な売り方をしている地域がほとんど無いことが判明した。加えて、豊後高田の商店街を昭和という視点で再調査し、店舗の7割が昭和30年代以前につくられたものであり、看板建築をはがし改装すれば当時の姿を再現することがそれほど困難でないことがわかった。こうして「昭和の町」のコンセプトが生み出された。偶然の産物ではなく、戦略の賜であることが理解いただけると思います。

#### b. ソフト重視、外の目重視の戦術

そうは言っても地方の小都市。資金が潤沢にあるわけではなく、また新しいコンセプトを認めない保守的な人も多数存在する。7店舗による出発であり、町並み全体が大きく変化たわけではない。そうした出発時点でのハードの貧弱さでは、勝負できないと考え、ボランティアガイドを設け、ソフトの力で勝負することにした。なんら変哲もない町並みも、ガイドの独特の切り口による案内が加わると、価値が生まれ輝きが生じるものである。実際藤原さんにご案内いただき独自の語り口による店舗の紹介や歴史紹介、一室、ウリの一品などを聞き、お店で試食、試飲するとおもしろさが実感できる。ハードの貧弱さをソフト（人間力）で補い、付加価値を生み出すという大変すぐれた戦術を取ったことが成功の要因である。

同時に外の目で内をかえる戦術をとった。観光バスツアーの誘致を積極的に行い、そこでの注目の度合いや訪れるバスの台数の増加を豊後高田市民にアピールすることで、内の人々の考え方を換え、町並み整備への賛同者の増加と整備のスピードアップを図った。ハード面の充実をこうした戦術で加速させたのである。

外の目、観光客重視の考え方は一貫しており、今後の課題として、観光客の受け

入れの手配、ガイドの割当て、バス駐車スペースの確保等、商工会議所に勤務する金谷氏を中心とした方々が副業的に行っている仕事を独立させて事業として成り立たせていくための、「マネジメントシステム」の確立を強調されていた。

#### 成功要因の分析と当方の感想、意見

成功の要因としては、

- イ 市場マーケティングを徹底して行った戦略的アプローチの採用。
- ロ ソフト（人間力）の徹底活用。
- ハ 観光客重視、外からの評価の戦術的活用。

の3点と思われる。

豊後高田「昭和の町」を良い事例と考えるかどうかは各人のまちづくりの理念や哲学によって変わってくると考えられる。

私たちが訪れた時に昭和の町を歩いていた人の70%位が観光客であった。観光客相手の地元民と遊離した状況に陥る危険性が大であると感じられた。また、各店舗でのウリの一品もその質は必ずしも高くなく、昭和の町の観光的要素が除かれた時に勝負できる一品であるかどうか疑問が残る。

外貨獲得を第一目的と考え、全国的に注目され観光客が大型バスで訪れる町を良しとするのか、地元民の暮らしと不可分の中に新しい可能性を探っていくのか、どちらの考え方に立つのかで評価は分かれると感じられた。

この点は今後議論の必要があると思われる。

#### ・白杵市

白杵市とは？

白杵市は大分県の南東部に位置する人口4万5000人の市で、西日本一の規模を誇る味噌、醤油等の醸造業と造船業が中心のまちである。歴史的には、平安時代から鎌倉時代にかけて造顕された白杵石仏が有名であり、戦国時代にはキリシタン大名大友宗麟が府内より当地に本拠を移し丹生島に築城し、フロイスなどの宣教師が多く訪れ教会が建ち権勢を誇った。江戸時代に稲葉氏五万石の城下町として栄え、1600年には三浦按針で有名なオランダ船リーフデ号漂着したことで知られ、国際交流も盛んである。当地で水揚げされるフグは大分でも最高のものとされており、黄飯、きらすめし、茶台ずしなど独特の食文化で特色を持つ。小説家野上弥生子の出身地であり、生家の小手川酒造の酒蔵と東京より移築した家の両方が存在し、早春賦の作詞者である吉丸昌一の記念館も存在する。最近では、小室哲哉と結婚したケイコの出身地として名高い。

## まちづくりの特色

### a 歴史的景観保存、再現によるまちづくり

臼杵のまちづくりは歴史的景観を生かして住みよく美しい生活環境を整えることが中心であった。臼杵は海、山、丘に挟まれた起伏に富んだ地形、真直ぐでない迷路状の道、さらには独特の屋根瓦の建築物が一体となった独自性のある美しい町並みを形作っていた。宗麟の時代の町（中世）、稲葉氏の城下町（近世）商人の町（近代）の建築や道、石畳が入り交じり独特の雰囲気を出している。そうした町並みを保存し、整備し、美しい一体性のある「一粒の真珠」に育て上げようとするのが臼杵のまちづくりの特徴である。

今回案内いただいた大戸氏を会長とする「臼杵デザイン会議」は、1987年に発足した団体であり、歴史的環境と自然環境を一体にしたまちづくりを展開している。臼杵全体のランドデザインを考えたり、調査研究したりというシンクタンク的な面と市内中心にある「辻の井戸」の取り壊しに反対したり、寺院や旧の武家屋敷に花木を植栽したり、臼杵百景を公募して選定するといった行動する団体の側面を兼ね備えている。

彼らのまちづくりのキーワードは「臼杵らしさ」であり、臼杵らしくあるために必要であるなら、的場ヶ浜干潟保全運動を行うなど、町並み保存以外の活動にも積極的に携わっていることに特徴を持つ。豊後高田のように他との差別化とか、強力なウリものを作るといった発想はなく、自身のこだわりに基づいた内発的アプローチを重視している。

### b 主体性、柔軟性を重視した緩やかな連帯によるまちづくり

臼杵のまちづくりの主体は市民である。臼杵に生活している臼杵人が自らの主体性により立ち上がりまちづくりを行っている。1997年に改革派の後藤市長が誕生し、「臼杵デザイン会議」のメンバーも同市長の施政への評価は高いものの、行政の計画を無批判に鵜呑みにすることなく、自らの主体性を重要視し、信頼関係に基づいた緊張感のある関係を維持している。

臼杵市内には「臼杵デザイン会議」以外にも多くのまちづくり団体があり、一部メンバーの重複がみられるが、そうした各種団体を組織化し一つの勢力にしようという考え方はない。一つの団体にこだわることなく、広く参加し、それぞれが好きなきにその団体に参加し活動するというメンバーシップで、市民が主体的かつ柔軟性をもって活動している点に大きな特徴がある。自分の好きなことを自分の選択で楽しんで行うというスタンスである。団体に参加している会員の間でも意見の相違が発生することがあるが、そうした場合においても各々の意見を尊重し、団体の意見としての統一した一つの方向性に持っていくことをせず、多様性を重視している。多方面の人が積極的に参加する「人の魅力」がまちづくり

に活き活きとした推進力を与えている。

団体間においても、時は協力し時には距離をおくなど、相互の協力関係は目的により変化し、「臼杵をよいまちにしたい」との共通の大義のもとで緩やかな連帯を形成している。

#### c 生活している人に視線が向いたまちづくり

臼杵のまちづくりの視線はそこで生活をしている人に向けられている。他の地域と比較しどう評価されるかとか、臼杵を訪問する人の数とか、まちづくりの経済的効果等は、あまり重要視されていない。

「臼杵らしさ」とは何かを徹底的に考え、そこに住む臼杵人にとって好ましいと思われることを主体性をもって積極的に行っていこうと考えている。「それが真に良いもので磨きあげられたものであれば、外の人から見ても自ずと評価に値するものになるのでは」と竹内氏は語っていた。豊後高田の戦略的アプローチに対して内発的なアプローチであり、豊後高田の外の人を意識したまちづくりに対して、内に視線を向けたまちづくりと言える。実際、私たちが小手川酒造を訪れたとき大型観光バスのツアー客が訪れていたが、大戸氏は「旅の行程の僅かな時間の立ち寄り観光地として臼杵に来てもらいたくない。もっとゆっくりと町を散策し、時間をかけて町の雰囲気味わってってもらいたい。」と語っており、外貨獲得の発想について否定的であった。

野上弥生子に「一粒の真珠」という文章がある。「一粒の真珠は、他のけばけばしい宝石より、より貴重なものとされます。資源や土地に乏しい臼杵とても運営しだいで、よそでは欲しくとも手に入らぬ九州東海岸の真珠に育てあげられるはずです。好ましい風土のみでなく、歴史、文化の条件においても特殊にゆたかな温床をもっているんですもの」というものであるが、臼杵を「一粒の真珠」に磨き上げることこそが、彼らのまちづくりの精神ではないかと思われる。

#### 成功要因の分析と当方の感想、意見

成功要因としては

- イ 歴史的、自然的な資源が豊富にあり、市民がそれを財産と認識していたこと。
- ロ 市民の主体性が高く、柔軟かつ多様なまちづくりへの参加を可能にしてきたこと。
- ハ 行政と適度な緊張関係があり、なあなあにならないパートナーシップの構築に成功したこと。

の3点であると考えられる。

当方の感想としては、自らが楽しんで活動し、それが一定の成果を生み出している点で大変に素晴らしいと感じた。同時にその自然体の姿の中にまちづくりの真実があるのではないかと考えさせられた。

### 3. まとめ

豊後高田と臼杵はまちづくりの考え方、アプローチにおいて対極をなす。

豊後高田		臼 杵
観光客・外に目線をおく	←→	市民、内に目線をおく
組織的なマネジメント指向	←→	主体性、柔軟性、多様性を重視
戦略的アプローチ	←→	内発的アプローチ

そうした違いが発生している要因は

まちづくりの理念、哲学の違い

利用可能な歴史的、文化的、自然的な資源の違い

の2点から生まれてきていると考えられる。

共通している点としては、両市とも自分のまちの資源を徹底的に考え、何を財産としてまちづくりをしていくかについて、極めつくしている点である。当プロジェクトにおいても、丘の上の利用可能な歴史的、文化的、自然的な資源について、要素を拾い出し研究しているものの、最も大切に集中特化し磨き上げていく資源について結論がでていない。豊後高田型アプローチを採るにしろ、臼杵型アプローチを採るにしろ、第三の道を行くにしろ、いずれにしてもこの点を早くクリアーし明確にしなければならないと思い知らされた。